

新年のごあいさつ



南越前町長

岩倉 光弘

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様には、輝かしい新年をご家族お揃いで迎えのこと、心からお慶びを申し上げます。
日頃は町政推進に当たり、温かいご支援とご理解ご協力を賜り、衷心より厚くお礼を申し上げます。
昨年は、10月14日に衆議院が解散し、同月31日には衆議院議員総選挙の投票が行われ、11月10日に第2次岸田内閣が発足するという戦後最も慌ただしい政権選択選挙となりました。

我が国が抱えるさまざまな課題解決に向けて新政権の構想と政策、そして実行力に期待するところでもあります。

先の臨時国会で成立した約35兆9、800億円の過去最大規模の補正予算の速やかな執行などによって、疲弊した日本社会を、成長と分配の好循環によって回復させ、更なる発展を望むものであります。

また、新型コロナウイルス感染症が確認された令和2年1月から約2年が経過し、3回目のワクチン接種が本年2月から実施されます。

しかしながら、全国各地で規制緩和、制限解除が進む中、オミクロン株など変異株による第6波の懸念は払拭されていません。

全世界が今回の世界的大流行を教訓に感染防止対策の重要性を忘れることなく各々が基本的な感染症対策を習慣とすることが最も効果的と考えます。

さて、本町におきましては、昨春に糠地区を対象区域とする「越前海岸の水仙畑 糠の文化的景観」が福井県内では初めてとなる国の重要な景観に選定されました。今後は、越前水仙の日本三大群生地を成す地域として地元住民の皆様とともに修景等の整備事業に取り組みます。

また、8月2日には福井県嶺北地方では初めて国の重要な伝統的建造物群保存地区に今庄宿が選定され、今後は今庄宿を観光資源として、その魅力を全国に発信し地域の発展につなげていきたいと考えています。

平成28年度に国のモデル事業に選定された「高速道路のサービスエリア、パーキングエリアを地域の核とする事業」の中核施設である道の駅「南えちぜん山海里」が10月8日に開駅し11月末日現在、当初の想定を大幅に上回る30万人以上が来場いただき大盛況となっております。

今後も本町の魅力の発信拠点として、将来にわたり地域に愛される道の駅で在り続けられるように努めてまいります。

それでは、令和3年度に取り組んでおります「6つのまちづくり事業」の主だった事業につきまして、新型コロナウイルス感染症対策を含め、その進捗状況についてご報告をさせていただきます。

一つ目の「町民に優しいまちづくり」として、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを定着を目指し、「地域ふれあいサロン」を中心とした介護予防活動と地域の見守り・支え合い体制づくりを推進しています。

二つ目の「安全安心して暮らせるまちづくり」として、子育て世帯や新婚世帯など若い世代の定住を促進するため、東大道分譲地を造成すると共に、宅地の分譲や空き家及び住宅取得に対する補助などの住宅政策を引き続き推進します。また、老朽化した水道施設を計画的に更新していくため、

今泉配水区管路更新事業を継続して実施します。

三つ目の「活き活きと働けるまちづくり」として、農業者の経営の安定と発展、農産物の生産促進を図るために、担い手農家や集落営農組織が整備する農業用機械や園芸施設等に対する支援を実施しています。さらに鳥獣害対策の基本である、捕獲・追い払い・防衛を効率的に行うために、地域ぐるみの被害防止活動を支援するとともに、獣害防止柵に対する資材購入や設置に対する支援を行っています。

また、水産業の健全な発展と水産物の安定供給を図るため、甲楽城漁港嵩上工事を実施しました。四つ目の「人と文化を育むまちづくり」として、本年4月の南越前町立南越前中学校の開校に向けて、対象となる児童生徒の新しい環境へのストレスを少しでも緩和できるように、また保護者の経済的負担を極力軽減できるように、準備を進めています。

五つ目の「住民主体のまちづくり」として、NPOやボランティア団体の活動意欲が向上する施策の展開に努めています。

最後に、六つ目の「効率的な行政運営によるまちづくり」であります。厳しい財政状況の中において多様化する住民ニーズに迅速に対応し今後も良質な行政サービスを展開するために財政規模に応じた適正な行政運営に取り組み、健全化判断比率は好転しています。

新型コロナウイルス感染症によって国民生活が大きく変化した感染前と同様に取り組むことが困難な事業もありますが、町民の皆様のご理解、ご協力を賜りながら、人口減少対策及び地域の活性化に資する事業に取り組み、町民福祉の一層の向上に努める所存であります。

結びに、令和4年が町民の皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げ年頭のごあいさつとさせていただきます。

年頭のごあいさつ



南越前町議会議長

秋田 重敏

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町議会活動に温かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

議会といたしましては、本年も町民の皆様が安全で安心して暮らせる町づくり政策に対し、全力で支援してまいる所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

振り返りますと、昨年は新型コロナウイルス感染症による第5波の影響で国内において感染者が大幅に増加し、福井県内においても同様に、今までにない感染者数の増加となりました。

感染者の増加に伴う影響として、飲食店などに對する営業時間の短縮要請や、他県との往來の自粛強化など、一昨年に引き続き住民生活や経済活動が制限され、さらに医療現場においては、重症

者の病床の確保や感染者病床の確保ができないなどの状況でありました。

県からの営業時間の短縮要請など感染対策にご協力をいただいた旅館業及び飲食店などの皆様をはじめ、感染症防止にご尽力をされておられる医療従事者、関係者の方々に感謝を申し上げますと存じます。

また、昨年は、コロナ禍の中ではありましたが、東京オリンピック、パラリンピックが開催され、日本選手の大活躍が記憶にも新しいところで、今回のオリンピックには、本町出身の青木千佳選手がフェンシング競技女子サーブル部門で個人戦、団体戦に出場されました。個人戦においては、大健闘のすえ敗退となりましたが、団体戦においては5位入賞という輝かしい成績を残されております。

青木選手の活躍に敬意を表し、賛辞を贈りたいと存じます。

一方、昨年も、全国的に前線の停滞などによる豪雨災害によって、日本各地において河川の氾濫、土砂災害が発生しました。本県においても、土砂災害警戒情報が発表され、土砂災害の被害が発生しました。

静岡県熱海市での土砂災害など、全国で災害により被災されました皆様にご見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心からご祈念申し上げます。

次に、国政においては、昨年、菅総理の退陣に伴い岸田内閣が発足した後、衆議院の解散に伴う衆議院選挙が実施されました。

野党共闘による統一候補擁立など激しい選挙となりましたが、自民党などの与党が議席を多く獲得し、岸田総裁が引き続き内閣総理大臣に指名され、第2次岸田内閣が発足しております。

さて、本町におきましては、明るい出来事として、昨年は、今庄宿が重要な伝統的建造物群保存地区の選定を受け、河野地区の糠を対象とする地域が重要な文化的景観の選定を受けました。

また、道の駅「南えちぜん山海里」が10月8日にオープンし、町内をはじめ、県内外からも多くの利用者が訪れております。11月18日には、長年待ち望んでおりました町道脇本上平吹線の上平吹橋が完成いたしました。

町政においては、少子高齢化と人口減少が喫緊の重要課題であり、対策として若い世代の定住促進に資するよう、宅地分譲などの住宅政策を積極的に進めるとともに、町民の多様なニーズに対応した町政の推進を図っていただくよう期待しております。

結びに、令和4年には、新型コロナウイルス感染症も終息し、平穏な生活が取り戻せますことと、町民の皆様にとり、希望あふれる実り多き年になりますことを心よりお願いいたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。